

家具試作・評価支援ラボの紹介

- H29年度補正 地方創生拠点整備交付金を活用して拡充整備 -

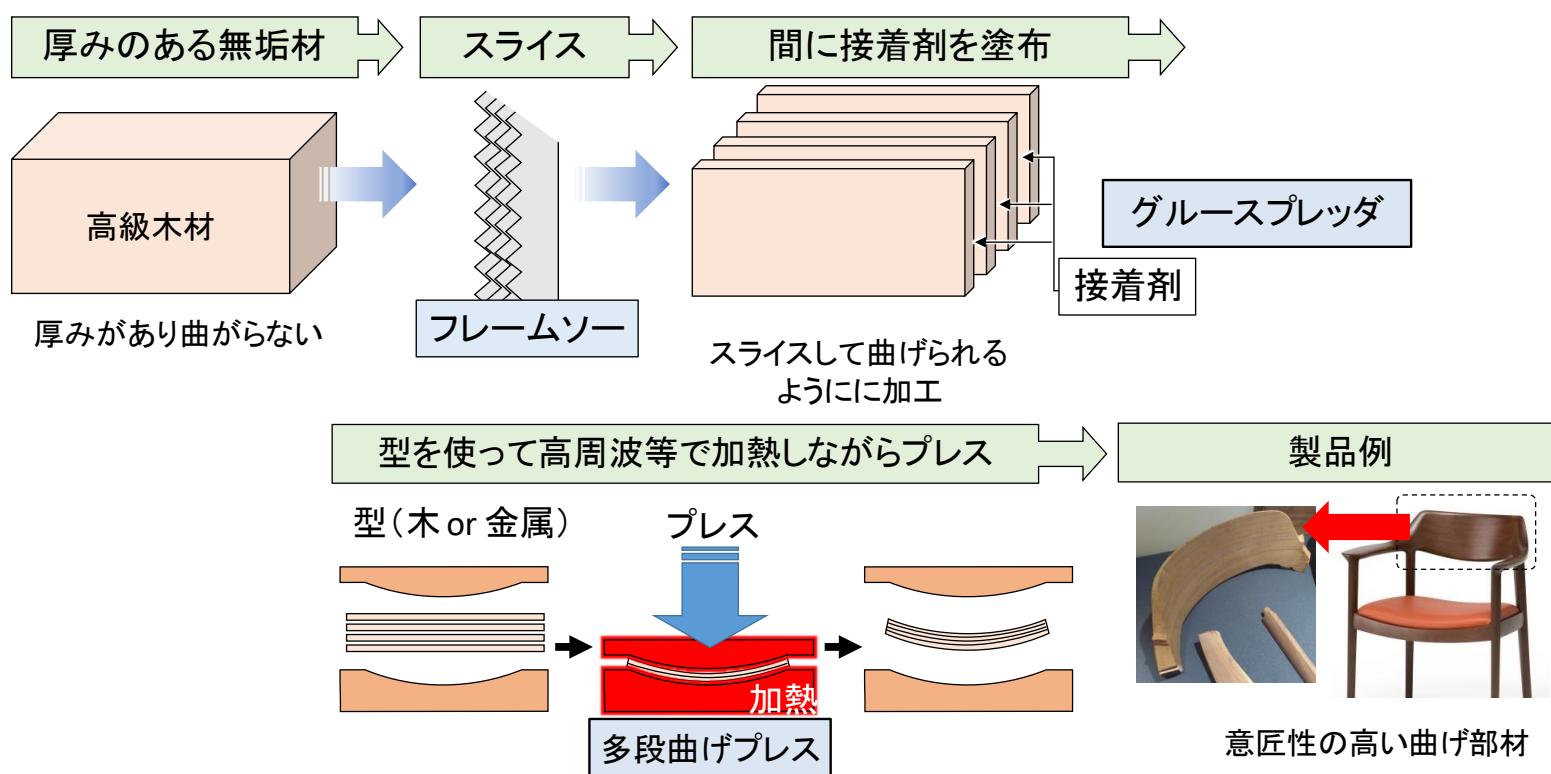
福岡県工業技術センター インテリア研究所

目的

- インテリア研究所(大川市)内に、「家具試作・評価支援ラボ」を令和元年5月に開所しました。
- 曲げ加工に必要な機器及び強度試験機器を整備し、木材の曲げ加工から強度の評価まで一連の試作支援を行います。
- 当ラボを中心に、板厚・含水率・接着剤種・プレス条件と曲率の関係等の木材曲げ加工の技術要素を確立し、データベース化します。



概要



新規導入機器

フレームソー

木材（板材・角材）を自動で送りながら、等間隔にスライスします。



材料の高さ
最大266mm
材料の厚さ
25mm~162mm
スライスの幅
2~7mmを1mm刻み

多段プレス

木材素材の曲げ加工に用います。熱盤で加熱して木材を軟化しながらプレスします。



盤面の寸法
幅600mm×奥行600mm
曲げ加工半径
600mm~400mm

【お問い合わせ先】

■施設概要に関すること

福岡県工業技術センター インテリア研究所 技術開発課

電話：0944-86-3259

<http://www.fitc.pref.fukuoka.jp/center/idri/idri.htm>